

指導展開例 危機管理局作成の防災教育デジタル教材「じしんのそなえ」を活用した 授業	小学校
	第2学年
	特別活動

1 教科・学年 学級活動（2） 第2学年

2 単元名・題材名 「大きな地しんにそなえよう」

3 授業の位置付け

令和5年度に配付予定の「危機管理局作成の防災教育デジタル教材(パワーポイント)」を活用して、地震時の避難訓練の事後指導として実施する。

4 本時の目標

大きな地震でどのようなことが起こるかを予想し、どのような場所にいたとしても自分の身を守るための安全な行動の仕方を意思決定することができる。

5 本時の展開

	子どもの学習活動			教師のかかわり
つかむ	<p>1 大きな地震でどのようなことが起こるかを予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイント『地震が起こったら』を見ながら、建物の外や中でどのようなことが起こるかを知る。 ・『実際の地震』の動画を視聴したり、『震度』についての説明を聞いたりする。 <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>大きな地震が起こったとき、どのように行動するとよいのかな？</p> </div>			<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル教材の絵や「震度はゆれる大きさ」の部分拡大して黒板に貼り、イメージを膨らますように説明する。 ○気分が悪くなった場合について指示しておく。
さぐる	<p>3 学校で大きな地震が起こったら、どのようなことが起こるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の中で起こることを考えて発表する。 	<p>5 下校時に大きな地震が起こったらどのようなことが起こるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下校途中の道路で起こることを考えて発表する。 	<p>7 家で大きな地震が起こったら、どのようなことが起こるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家の中で起こることを考えて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル教材を活用しながら「学校」「下校時」「家」の3つに分けて、どのようなことが起こるかを具体的に考えるように問いかける。
見付ける	<p>4 学校で大きな地震が起こった時の自分の身の守り方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「机の下に入って頭と体を守る」をやってみることで実感を伴って理解する。 	<p>6 下校時に大きな地震が起こった時の自分の身の守り方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなことに気を付ければよいかを考える。 	<p>8 家にいる時に大きな地震が起こった場合の自分の身の守り方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部屋や台所での身の守り方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「さぐる」段階で考えたことを踏まえて、安全な行動の仕方を考えるように問いかける。 ○実際に「机が倒れないように机の脚を押さえる」という行動を体験する場を設定する。

セルフチェック1
(興味・関心・疑問をもてる)

デジタル教材の画像を見て大きな地震が起こったときの被害のイメージを膨らませる。

セルフチェック3
(見通しをもつ)

それぞれの場所の被害状況がわかるイラストを提示して、具体的に考えられるようにする。

セルフチェック5
(多面的・多角的に考察)

場所が異なる3つの場面における安全な行動の仕方を考えることを通して、自分の命を守るためには自分で判断して行動することが大切であることに気付くようにする。

決める	9 学習したことをまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 安全な場所を見つけて、しゃがんで地震が収まるのを待つといいんだね。 </div>	○大きな地震が起こった時にどのように行動すればよいかを意思決定できるようにカードに書く場を設定する。
	10 大きな地震が起こった時にどのように行動するとよいかを決める。 ○安全な行動の仕方を意思決定してカードに書く。	

セルフチェック6 (学びを実感する)
 どのように行動すればよいかをカードに書いて意思決定する。

6 実施のポイント

◎つかむ1・2

緊急地震速報の音を聞く場を設定し、「地震の学習をする」という意識を高める。

危機管理局作成のデジタル教材を活用して、「大きな地震でどのようなことが起こるか」と問いかけ、大きな被害が発生することを押さえた上で、本時の課題をつかむようにする。



震度5弱から震度7までのゆれが具体的にどれくらいのゆれなのかをイメージできるように説明する。

◎さぐる3・5・7

デジタル教材を活用しながら、「大きな地震が起こったらどのようなことが起こるか」と問いかけ、「学校」「下校時」「家」に分けて板書する。

学校 <ul style="list-style-type: none"> ・机が倒れる ・棚の上や中のものが落ちる ・オルガンが動く ・窓が割れるなど 	下校時 <ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機や看板が倒れる ・地面が割れる ・建物や塀が壊れるなど 	家 <ul style="list-style-type: none"> ・本棚やテレビなどが倒れる ・テーブルの上の物が落ちる ・食器が落ちるなど
--	---	---

◎見付ける4・6・8

「学校・下校時・家のそれぞれでどのように行動するか」と問いかけ、安全な行動の仕方を整理しながら板書する。

学校 <ul style="list-style-type: none"> ・机の下に入る (机の足をつかむ) ・倒れたり落ちたりする物から離れるなど 	下校時 <ul style="list-style-type: none"> ・塀などの倒れそうな物から離れる。 ・安全な場所にしゃがむ ・頭を守るなど 	家 <ul style="list-style-type: none"> ・安全な場所にしゃがむ。 ・トイレに入っていたらドアを開ける ・頭を守るなど
---	---	--

◎決める9・10

大きな地震が起こった時にどのように行動するとよいかを**意思決定**する。



7 資料

